

2022 年 7 月 1 日
中部電力パワーグリッド株式会社

2022 年度 中部エリアの夏季電力需給見通しについて

今夏の中部エリアの電力需給は、国等が検証を行った結果、火力増出力運転および連系線の活用（エリア間取引）が行われることで、猛暑 1 点最大電力^{※1}発生時においても安定供給に最低限必要とされる予備率 3%以上を確保できる見通しですが、7月の東北・東京・中部エリアの予備率は 3.1%、北陸～九州エリアの予備率は 3.8%となり、8エリア（北海道・沖縄以外）で予備率が 3%台となる厳しい見通しとなっております。

無理のない範疇での節電に一層のご協力を頂きますようお願い致します。

<猛暑 1 点最大電力発生時の電力需給バランス>

（送電端：万 kW）

	2022 年 7 月	2022 年 8 月	2022 年 9 月
最大電力 (A)	2,662	2,619	2,472
供給力 (B)	2,744	2,734	2,610
供給予備力 (B-A)	82	116	137
供給予備率 (%)	3.1 %	4.4 %	5.6 %

※1 至近 10 か年で最も猛暑となった年と同程度の気象条件が発生した場合の最大電力

※2 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある

○明治用水頭首工の漏水に伴う碧南火力・武豊火力の出力制約などの影響については現時点で見通せておらず、今夏の見通しには反映していない。（委員会開催：5月25日断面）

<国等による電力需給検証>

電力広域的運営推進機関「調整力及び需給バランス評価等に関する委員会」

https://www.occto.or.jp/iinkai/chouseiryoku/2022/denryokujukyukensho_20220601.html

経済産業省「総合資源エネルギー調査会 電力・ガス基本政策小委員会・電力需給に関する検討会合」

・2022 年度の電力需給に関する総合対策

<https://www.meti.go.jp/press/2022/06/20220607003/20220607003.html>

以 上